



夢は自分でかなえてほしい

必佐小学校「芸術鑑賞会」

12月17日（火）、必佐小学校で芸術鑑賞会が行われ、イリュージョン歌舞劇団「歌舞人の皆さんによるミュージカル『アラジンと魔法のランプ』」を全校児童で鑑賞されました。

ミュージカルは、歌と踊りにイリュージョンマジックを加えたもので、児童の皆さんは思わず「わあ!」と声が出るほどミュージカルの話の中に入り込んでいました。

ミュージカルの最後には、劇団の方から「アラジンは、魔法の力に頼らず、自分で夢をかなえました。皆さんも夢を持ち、その夢を自分でかなえてほしい」と児童の皆さんに向けて、お話しされました。



▲体育館全体がミュージカルの世界に

日野菜は「うまいっ!」

テレビで日野菜が紹介されました

12月15日（日）16日（月）の2日間、鎌掛地域を中心に日本テレビ「満点☆青空レストラン」の収録があり、12月28日の放送で日野菜が紹介されました。

撮影では、日野菜を栽培されている岡保次さんが日野菜の魅力を紹介され、岡きぬ子さんと西岡久枝さんが日野菜ステーキや日野菜漬けなどの日野菜を使った料理を紹介されました。

タレントの皆さんの「うまいっ!」という感想がその場に響き渡り、終始、和やかな雰囲気の中で撮影が進められました。



▲出演された皆さん



▶収録の様子

男女共同参画社会づくりへ

「ひのパートナープラン21」意見書提出

12月20日（金）、日野町男女共同参画懇話会（遠城輝雄会長・岡成美副会長）から町へ「日野町男女共同参画行動計画（ひのパートナープラン21）（改定）」の後期計画に関する意見書が提出されました。

懇話会では、町民意識調査結果の分析を行われるとともに、後期計画（案）について審議を重ね、意見書をまとめられました。「まずは、「ひのパートナープラン21」を知ってもらうことが重要」として、特に「DV等、人権侵害の防止」と、「防災をはじめとした地域社会の男女共同参画促進」についてご意見をいただきました。

今後町では、意見書の内容を踏まえて、後期計画の策定を進めていきます。



▲町長へ意見書が手渡されました



まぢの

心を込めた年賀状を

第34回町民年賀状展

1月1日(水)、日野町連合青年会の皆さんが、馬見岡綿向神社で第34回町民年賀状展の表彰式を開催されました。今年の年賀状展には509通の年賀状が展覧されました。中には、切り絵や版画を使った作品などがあり、訪れた方は「工夫してあるなあ」と話しながら見ておられました。

幼小の部で最優秀賞の岡蓮大さんおかれんたは「友たちに毎年年賀状は出しています。が、年賀状展には初めて出展しました。かっこいい年賀状に仕上げました」と話してくれました。

出展された年賀状は、日野町立図書館や近江日野郵便局でも展示されました。



▲趣向を凝らした年賀状がたくさん出展されました

新春にかるたで勝負

各地区でかるた大会を開催

町内の各公民館では、毎年1月にかるた大会が行われています。

今年も1月26日に日野町子ども会指導者連絡協議会が開催する「新春こどもかるた大会」の予選会をかね、各地区で大会が開催されました。

必佐公民館では1月12日(日)に必佐新春かるた会が行われ、地域での練習の成果を発揮して熱戦が繰り広げられました。3人1組で行う団体戦では、1枚でも多く取ろうと各チームとも3人が協力しあって試合を進めていました。



▲張り詰めた空気の中で試合が行われました

わあ！風船がいっぱい！

「ドキドキ！わくわく！ルンルン！バルーンショー」

1月15日(水)、日野町子育て支援連絡協議会(三添美樹代表)の皆さんが風船太郎さんの「ドキドキ！わくわく！ルンルン！バルーンショー」を開催されました。

60組の親子が集まり、バルーンアートで犬や剣などの作り方を学んだり、2mを超える大きな風船を参加者全員でポンポンと突き上げたりするなど、小さきさまざまな風船を使ったショーが行われました。

子ども達は、次から次へと登場する風船や保護者の方が作ったバルーンアートで楽しそうに遊び、会場は嬉しそうなおともたちの笑顔があふれていました。



▲ショーではたくさんの風船が飛び出しました